

令和6年度 南あわじ市通学路の要対策箇所一覧

No	合同 点検	日付	学校名	路線名	箇所名(交差点名・住所等)	通学児童 ・生徒数	通学路の状況(危険の内容)	現在の対応	具体的な対応策	対策主体
1	-	-	倭文小学校	県道倭文五色線(470号)	倭文駐在所周辺T字路【南あわじ市倭文庄田341-11】	12名	多くの児童が登下校で利用するが、歩道が狭い。大型の車両が通ることもあり、交通量も比較的多い。特に、駐在所横の三叉路は緩やかなカーブになっている上に、草木が茂っているところもあり見通しが悪い。横断歩道、グリーンベルト共に整備されているが、危険な状況である。	毎朝、校長と駐在の巡査が交代で立番を継続している。現在倭文駐在所は建て替えのため閉鎖中のため近隣の竜在所から応援に来てもらっている。	年2回の草刈りは行う。 学校から連絡があればすぐ対応する。(済)	兵庫県洲本土木事務所
2	-	-	松帆小学校	県道洲本松帆線	河端橋付近	74名	橋の北側が急な坂道になっており、車のドライバーはもちろん、登下校する児童からも、通行する車や人の確認がしづらい。そのため、急に車や人が視界に飛び込んでくる感があり、危険を感じる。	登校時は毎日立ち番をしている。	交通違反取締のための防犯カメラの設置は難しい。児童への注意喚起をお願いしたい。	南あわじ市危機管理課・南あわじ警察署
3	-	-	湊小学校	市道	湊小学校下信号を湊小学校方向に入った所(南あわじ市湊1480番地付近)	44名	登下校において、危険なT字路である。特に下校時においては、坂道を下ってくる車には、倉庫の陰になり、児童の様子が見えづらい。また、十分に安全確認を行うよう指導しているが、車両の通行量が多く、横断の際に危険を伴う。	毎朝立ち番をしている。	道路両脇にグリーンベルトの整備をしており、道路に、学校が近くにあるという表示となっている。本件については令和5年度に湊小学校管理職と協議済。(済)	南あわじ市建設課
4	-	-	辰美小学校	市道津井港線	津井幼稚園・西淡グランド横	55名	滑り止めだと思うが粗いアスファルトが敷設されている。デコボコのため、つまずきやすく転ぶと大きなけが(膝えぐれる、大きく切る)につながる。	児童への声掛けや交差点での立ち番をしている。	尖ったアスファルト材ではない、かつ滑らない舗装への変更する。(R7.7月施行予定)	南あわじ市建設課
5	-	-		市道津井伊加利線	旧辰美中学校前三叉路付近	スクールバス乗車47名	雨が降った日や翌日に岩や石が崖から道路に転がっていることがある。令和6年5月28日には岩をよけて片側通行になるほどだった。	スクールバス運転手に任せている。	落石を防ぐ手立てをしてほしい(落石防止対処済)	南あわじ市建設課
6	-	-		市道伊加利丸山線	丸山バイパス南入り口付近	バス停まで自家用車送迎3名	雨が降った日や翌日に岩や石が崖から道路に転がっていることがある。	スクールバス運転手に任せている。保護者が目視確認している。	落石を防ぐネットする範囲が広いため見送り	南あわじ市建設課
7	-	-	志知小学校		飯山寺二号橋	7名	交通量は少ないものの、道幅は狭く深い河川沿いであるため、危険を伴う。(ガードレールあり)	4月・10月に各地区に交通立番をしている。	確かに危ないが、交通量が少ないので現状で気を付けるよう指導でお願いしたい	南あわじ市建設課
8	-	-	榎列小学校	県道66号線(大谷鮎原神代線)	大榎列交差点から小榎列まで	80名	交通量が非常に多い主要道であるが、以前塗装いただいたグリーンベルトが傷んで視認しにくく、グリーンベルトとして機能できていない。	道路端を一行列を歩くように指導を継続中	外側線に再塗装に合わせてグリーンベルトの再塗装も行う。また「速度落とせ」の路面標示も行う(済)	兵庫県洲本土木事務所

令和6年度 南あわじ市通学路の要対策箇所一覧

No	合同 点検	日付	学校名	路線名	箇所名(交差点名・住所等)	通学児童 ・生徒数	通学路の状況(危険の内容)	現在の対応	具体的な対応策	対策主体
9	-	-	八木小学校	県道松帆八木線(126号線)	八木笑原交差点付近	9名	令和6年5月27日に激しい降雨に起因する道路標識への単独事故があった。そのことから地域の方が子どもの安全を確保するため、県土木部へ車道と歩道を分離するガードレール設置を要望している。その返答として、土木部の現場調査の結果、反射板の設置が妥当であると考えられるとの報告を受けている。しかし、改善を求めるのであれば学校へ要望してほしいとの話もあったという。	道路標識は修理されているが、同じような事故があった場合子どもに被害が及ぶ可能性も考えられる。子どもには事故のことを知らせ、注意喚起しているが、限界がある。	自治会長との調整の結果、反射板を設置した(済)	兵庫県洲本土木事務所
10	-	-		市道	国分 矢の根池	1名	池を囲うガードレールが一部ない部分がある。登下校は1名のみしか通らないが大変危険である。	地区児童会等で危険箇所として、子どもたちと共有している。	コーンは道幅への圧迫があるので両サイドに黄色のラインを入れた。(済)	南あわじ市建設課
11	-	-	神代小学校	市道	神代地頭方1518付近	約80名	多くの児童が登下校で通る学校近くの道路である。歩道が途中で切れている部分があり、通行する車両も多く、接触の危険がある。	学期に2回程度職員が一緒に一斉下校し指導している。	地権者との兼ね合いがあり歩道の設置は難しい。	南あわじ市建設課
12	-	-		市道	神代八幡神社前交差点	1名	スピードが出やすい直線道である。横断歩道もないため、横断に危険が伴う。	学期に2回程度職員が一緒に一斉下校し指導している。	交差点部分のカラー舗装を整備した。(済)	南あわじ市建設課
13	○	9/12		市道	神代国衙1253-6 神代第三分団屯所前	7名	旧線路道を登下校で横断している。十分に安全確認を行うよう指導しているが、車両の通行量が多く、横断の際に危険を伴う。	学期に2回程度職員が一緒に一斉下校し指導している。	国道側の電柱(両側2本)及び市役所側の電柱(両側に電柱がないので片側1本)に巻看板「通学路につき横断者注意」を設置した。(済)また、令和7年度カラー舗装を予定。	南あわじ市危機管理課／建設課
14	○	9/12	福良小学校	市道	福良小学校正門(南門)から南下したところにある交差点(全日食前)	90名	・信号のないところを横断している。 ・過去にも交通事故・接触事故が起こった場所と聞いている。 ・昨年度1月より、通学路の一部変更を行った。このことにより、正門から南に伸びる道路を通して登下校する児童数が増加した。 ・この道路には、片方の路側帯がグリーンに塗られている。このため、登校時、歩行者はグリーンに塗られている左側を歩くことになる。このためか、学校の西側から登校する児童の中には、東西に伸びる道路の左側を歩行してくる者が多く、車・歩行者ともに危険だと思われる場面が見られたと地域住民から聞いている。	月に1回教員が立ち番を行っている。必要に応じて、下校指導を行っている。2か月に1回・1週間、PTAで立ち番を行っている。	横断歩道の付け替えができないか検討中	南あわじ警察署
15	-	-		市道	福良小学校正門(南門)から南下する道路(正門を出てすぐ)	90名		月に1回教員が立ち番を行っている。	グリーンベルトの塗装が薄くなっているが、再度塗ることはできない。	南あわじ市建設課

令和6年度 南あわじ市通学路の要対策箇所一覧

No	合同 点検	日付	学校名	路線名	箇所名(交差点名・住所等)	通学児童 ・生徒数	通学路の状況(危険の内容)	現在の対応	具体的な対応策	対策主体
16	-	-	広田小学校	広田洲本線		15名	通行量が多いうえ歩道がない、以前はグリーンベルトが広がったが今は本当に狭くなっている。雨のは傘もさすので特に危ない。	注意喚起のみ	グリーンベルトのの濃さに問題はなく、自動車の運転手から認識可能である。	兵庫県洲本土木事務所
17	-	-	広田小学校	広田橋～花屋橋(山添)初尾川沿い西側道路(市道)	広田広田	60名	荒天時、川の増水、強風等により危険である。	荒天時は通学路を変更し迂回しているが、迂回先の県道洲本松帆線は歩道がなく危険であり、教員が付き添っている。	(市)老朽化したガードフェンスは修理済だが悪天候時には通学路を変更しなければならない。児童に注意喚起。 (県)迂回路である洲本松帆線に歩道を整備する。整備完了後、その歩道を通学路とする。	南あわじ市建設課 兵庫県洲本土木事務所